

平成20年度決算

企画課財政係【☎028(677)6031】

平成20年度の一般会計と特別会計の決算が9月の議会で認定されました。
歳出総額128億362万円となった平成20年度決算についてその概要をお知らせします。

一般会計

決算の概要

一般会計の決算額は、歳入が過去最高額となる92億1,604万円の前年度と比べて4億1,476万円(4.7%)の増、歳出は85億8,065万円で、3億9,311万円(4.8%)の増となりました。

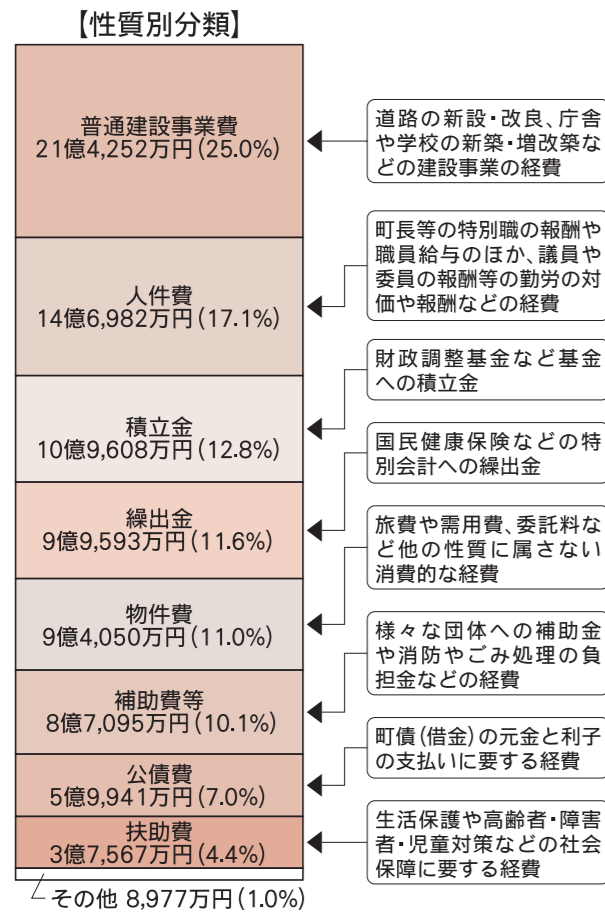
歳入と歳出の差引額は、6億3,539万円で、このうち5,734万円は平成21年度に繰り越した事業に充当するため、実質収支は5億7,805万円の黒字となりました。

歳入

歳入でその占める割合が最も高いのは町税で、61億2,246万円、全体の66.4%を占めています。前年度と比べ6億3,678万円(11.6%)の増で過去最高額となりました。これは、町民税の法人税割が4億4,627万円、固定資産税が1億8,663万円増収となったためです。

このほか、繰越金が6億1,374万円で1億1,693万円(23.5%)の増、都市基盤整備事業と中学校大規模改造事業のために借入した町債は、2億3,880万円で1億2,170万円(103.9%)の増となりました。

なお、総合情報館整備事業や都市計画事業の減により、国庫支出金は、3億5,853万円で1億4,936万円の減となりました。町税や繰入金、繰越金、使用料など町が自主的に集めることができる自主財源は、76億7,739万円となり、その割合は83.3%で過去最高になりました。



歳出

歳出を目的別にみると、総務費が最も多く21億2,947万円で、構成比は24.8%、次いで教育費14億7,958万円(17.2%)、民生費12億1,145万円(14.1%)、土木費11億3,734万円(13.3%)の順となっています。

前年度と比べて歳出で大きく増えた項目は、総務費で、8億1,543万円(62.1%)の増となりました。これは、財政調整基金と教育施設等整備基金に10億9,419万円積み立てたためです。

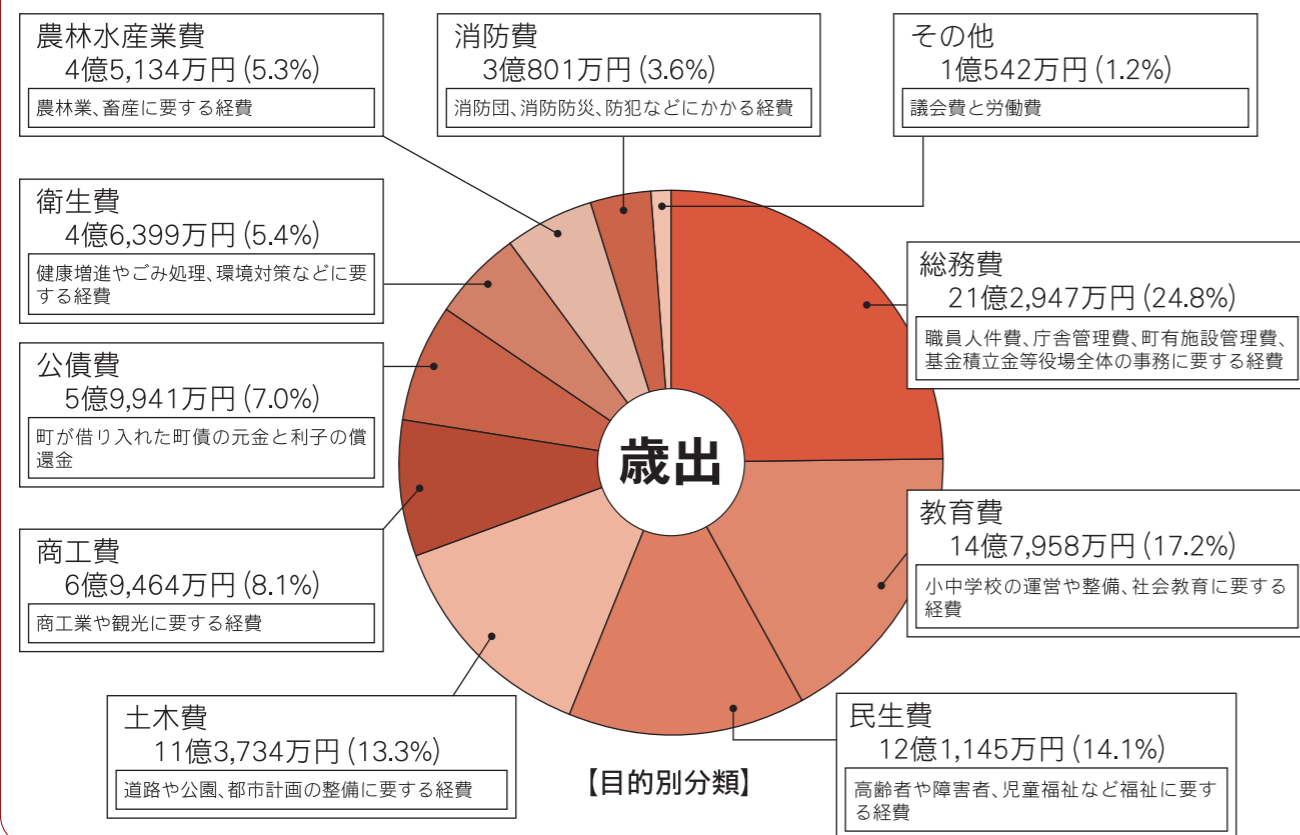
なお、教育費は、4億1,715万円(22.0%)の減となっていますが、総合情報館の本体建設工事が完了したためです。

次に歳出を性質別にみると、最も多いのは普通建設事業費で21億4,252万円(25.0%)、次いで人件費14億6,982万円(17.1%)、積立金10億9,609万円(12.8%)の順となりました。

前年度との比較では、基金への積み立てにより積立金が8億9,273万円(439.0%)の増となりました。

普通建設事業費の主な内容は、中学校整備事業や町単独道路新設改良事業、都市基盤整備事業などで、前年度と比較すると総合情報館建設が完了したため3億9,986万円(15.7%)の減となりました。

歳出 85億8,065万円



歳入 92億1,604万円

